

# 環境経営レポート

(第15版)



2024年12月25日作成

対象期間：2023年9月1日～2024年8月31日

津留建設株式会社

## 目 次

1. 事業概要	-----	P.1
2. 環境経営方針	-----	P.2
3. 環境管理体制図	-----	P.3
4. 中期環境経営目標	-----	P.4
5. 2023年度環境経営目標の実績	-----	P.5-P.7
6. 環境経営計画と実施状況	-----	P.8
7. 取組結果とその評価及び次年度の取組内容	-----	P.9
8. 環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟等の有無	-----	P.10
9. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果	-----	P.10

# 1. 事業概要

## 1-1 事業者名及び代表者名

津留建設株式会社  
代表取締役 津留克也

## 1-2 所在地

津留建設株式会社 本社	〒861-0803 熊本県玉名郡南関町関町1236
南関小原資材置場	熊本県玉名郡南関町小原1481
南関松尾土捨場	熊本県玉名郡南関町細永須久手746
難関突破プロジェクト合同会社 本社	熊本県玉名郡南関町関町1236
南関工場	熊本県玉名郡南関町細永2199

## 1-3 環境管理責任者名及び連絡先

環境管理責任者 北田貴光  
連絡先 TEL 0968-53-0064 FAX 0968-53-2843

## 1-4 事業内容(認証登録範囲)

特定建設業 熊本県知事 許可 (特-30)第000576号  
建設業の種類 (土木工事業・建築工事業・舗装工事業)  
\*産業廃棄物収集運搬許可を取得しているが、自社排出廃棄物に限定している。  
竹材加工

## 1-5 事業規模 (2023年度)

津留建設株式会社	
資本金	4,000万円
完成工事高	50,892万円
難関突破プロジェクト売上高	594万円

従業員数	18名
事業所延べ床面積	100㎡

## 1-6 事業年度

期首：9月 期末：8月

## 2. 環境経営方針

### 環境理念

津留建設株式会社は、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、事業活動における環境負担の低減を図るため、新技術の導入を図りつつ全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動の継続的改善に取り組みます。

### 環境経営方針

1. 環境経営のために次の行動に取り組みます。

- ①技術力の向上と新技術の導入をはかります。
- ②電力使用の削減をはかります。
- ③ガソリン、軽油の使用削減を目指します。
- ④水資源を大切に利用致します。
- ⑤産業廃棄物のリサイクル率の向上に努めます。
- ⑥事務用品は環境商品を積極的に使用します。
- ⑦環境に配慮した工事を行います。
- ⑧環境美化活動に取り組みます。

2. 環境関連法規制を遵守し、環境経営方針を全社員に周知徹底します。

制定日 : 平成22年10月1日

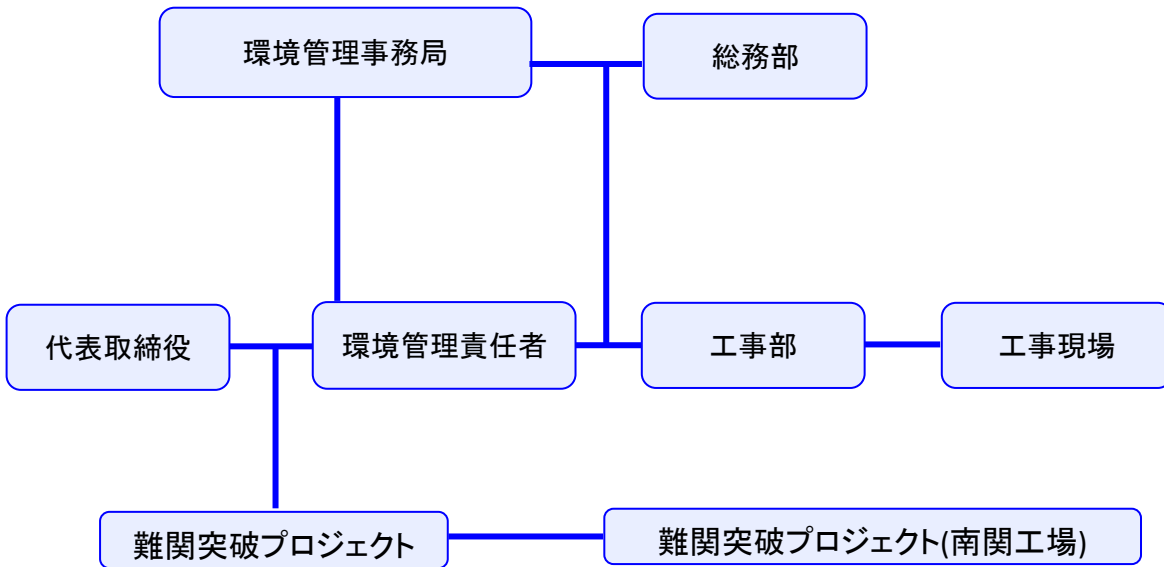
改定日 : 令和 5年10月1日

津留建設株式会社

代表取締役 津留 克也

### 3. 環境管理体制図

#### 組織図



#### 各部署の責任と権限

経営者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境への取り組みを適切に実行するための資源を用意する。</li> <li>・環境経営方針を定め、表明する。</li> <li>・環境管理責任者を指名する。</li> <li>・システムを見直し、改善を指示する。</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システムの総責任者としてシステムを構築し、実行し、継続的に改善し、維持する。</li> <li>・システム運営の実行を社長に報告する。</li> <li>・システムについて、外部関係者と連絡調整を行う。</li> <li>・環境経営目標と、環境活動計画を策定する。</li> <li>・環境経営レポートを作成する。</li> <li>・環境関連法令をチェックする。</li> </ul>
工事部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営目標と、環境活動計画を展開する。</li> <li>・部署の車輛・重機の燃料使用量を記録する。</li> <li>・マニフェスト伝票を作成する。</li> </ul>
総務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営目標と、環境活動計画を展開する。</li> <li>・部署の車輛の燃料使用量を記録する。</li> <li>・本社の光熱費を記録する。</li> <li>・コピー用紙の使用量を記録・集計する。</li> <li>・全部署の燃料・光熱費の使用量を集計する。</li> <li>・廃棄物排出量・利用量を集計する。</li> <li>・教育訓練を計画し、実施する。</li> </ul>
南関工場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営目標と、環境活動計画を展開する。</li> <li>・部署の車両・機械の燃料使用量を記録する。</li> </ul>

## 4. 中期環境経営目標

2021年9月～2022年8月までの実績を基に環境活動に取り組みます。

### 事務所関係

方針	項目	基準年度実績		環境経営目標	
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
		9月～8月	-1%	-2%	-3%
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減 kWh	17,037	16,867	16,696	16,526
	C02排出量 (kg-C02)	8,161	8,079	7,998	7,916
	ガソリン使用量の削減 L	3,420	3,386	3,352	3,317
	C02排出量 (kg-C02)	7,940	7,861	7,781	7,702
	LPガス使用量の削減 kg	27.0	27	26	26
	C02排出量 (kg-C02)	81	80	79	79
	C02排出量合計 (Kg-C02)	16,182	16,020	15,858	15,696
一般廃棄物の削減					
	kg	140	139	137	136

### 現場関係

方針	項目	基準年度実績		環境経営目標	
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
		9月～8月	-1%	-2%	-3%
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減 kWh	11,753	11,635	11,518	11,400
	C02排出量 (kg-C02)	5,630	5,573	5,517	5,461
	ガソリン使用量の削減 L	5,054	5,003	4,953	4,902
	C02排出量 (kg-C02)	11,734	11,616	11,499	11,382
	軽油使用量の削減 L	78,756	77,968	77,181	76,393
	C02換算 (Kg-C02)	206,683	204,616	202,549	200,482
	C02排出量合計 (Kg-C02)	224,046	221,805	219,565	217,325
産業廃棄物のリサイクル率100%維持					
	%	100	100	100	100

### 津留建設全体

方針	項目	基準年度実績		環境経営目標	
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
		9月～8月	-1%	-2%	-3%
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減 kWh	28,790	28,502	28,214	27,926
	C02排出量 (kg-C02)	13,790	13,653	13,515	13,377
	ガソリン使用量の削減 L	8,474	8,389	8,305	8,220
	C02排出量 (kg-C02)	19,674	19,477	19,280	19,084
	軽油使用量の削減 L	78,756	77,968	77,181	76,393
	C02換算 (Kg-C02)	206,683	204,616	202,549	200,482
	LPガス使用量の削減 kg	27	27	26	26
	C02排出量 (kg-C02)	81	80	79	79
C02排出量合計 (Kg-C02)	240,228	237,825	235,423	233,021	
産業廃棄物のリサイクル率100%維持					
	%	100	100	100	100
	一般廃棄物の削減				
kg	140	139	137	136	

\*電気のC02排出係数は、九州電力調整後排出係数0.479 (kg-C02/kwh) (2021年度) を使用しています。

- 1) 水の使用量は地下水使用のため量を把握できないので、削減は活動目標とします。
- 2) 事務用品は環境ラベルの付いた用品を100%使用しています。

## 5. 2023年度環境経営目標の実績

### 5-1 環境経営目標の実績(事務所関係)

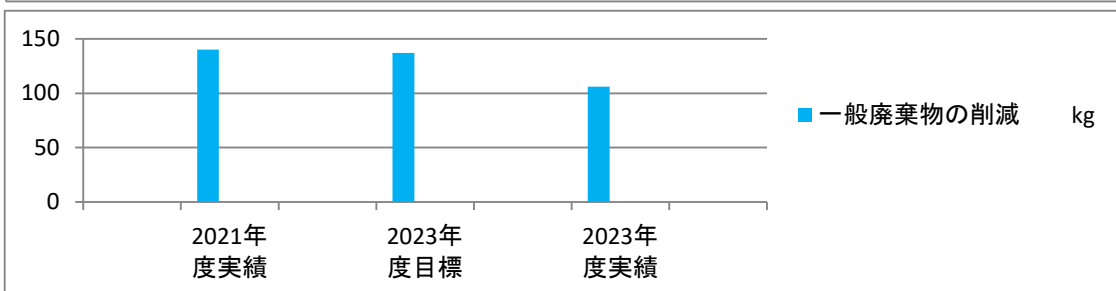
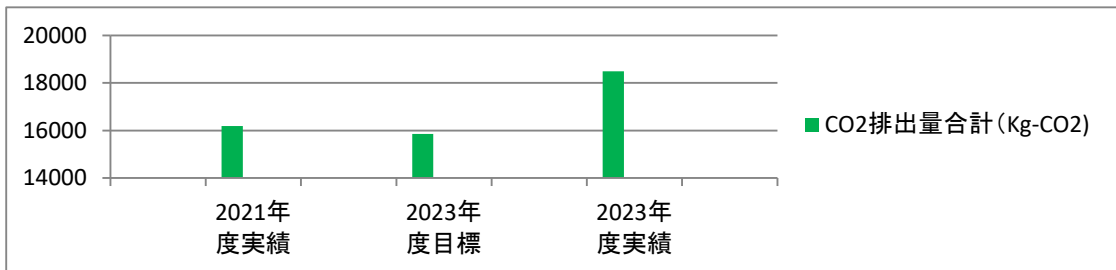
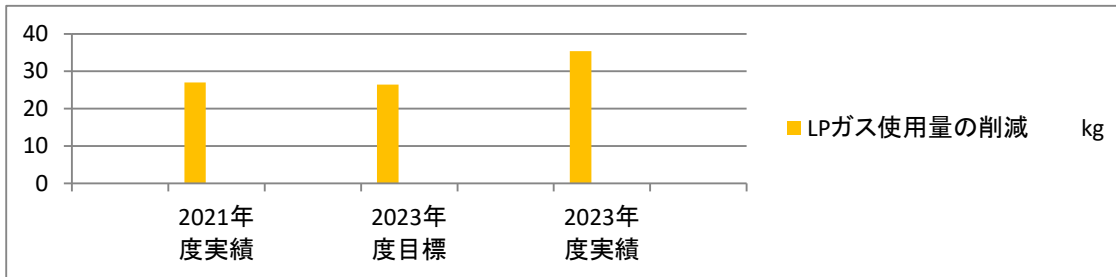
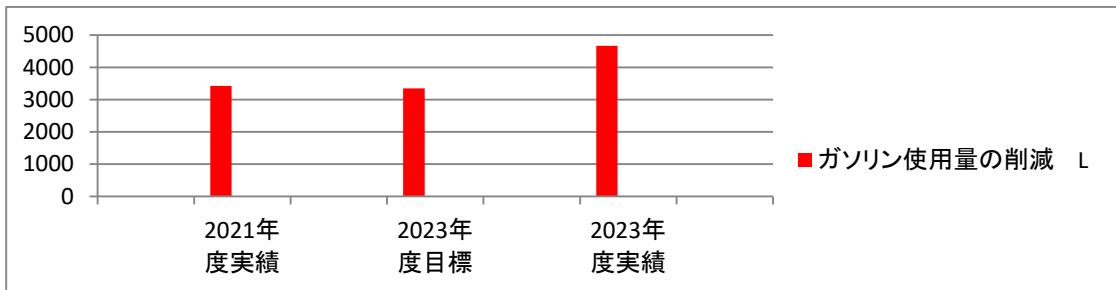
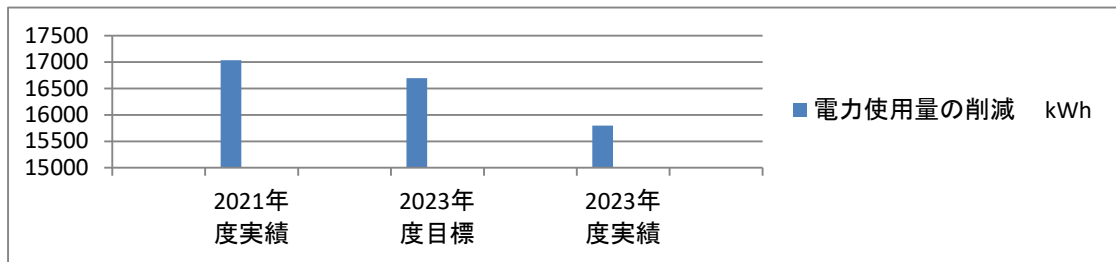
2023年9月～2024年8月までの取組期間における環境目標と実績を取りまとめました。

#### 事務所関係

目標達成度＝目標値÷実績値×100(%)

評価○:100%以上 △:100～80% ×:80%未満

方針	項目	基準年度実績	環境経営目標	運用期間実績	評価	目標達成率
		2021年度	2023年度	2023年度		
		9月～8月	98%	9月～8月		
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減 kWh	17,037	16,696	15,796	○	105.7%
	CO2排出量(kg-CO2)	8,161	7,998	7,566		
	ガソリン使用量の削減 L	3,420	3,352	4,664	×	71.9%
	CO2排出量(kg-CO2)	7,940	7,781	10,820		
	LPガス使用量の削減 kg	27.0	26	35.4	×	74.7%
	CO2排出量(kg-CO2)	81	79	106		
	CO2排出量合計(Kg-CO2)	16,182	15,858	18,493	△	85.8%
就労時間原単位(Kg-CO2/h)23年度2376時間	5.8	5.6	7.8	×	72.6%	
	一般廃棄物の削減 kg	140	137	106	○	129.4%



## 5-2 環境経営目標の実績(現場関係)

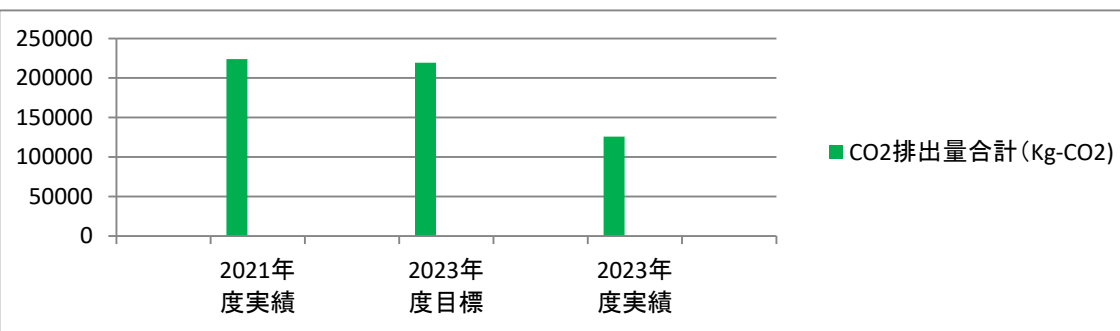
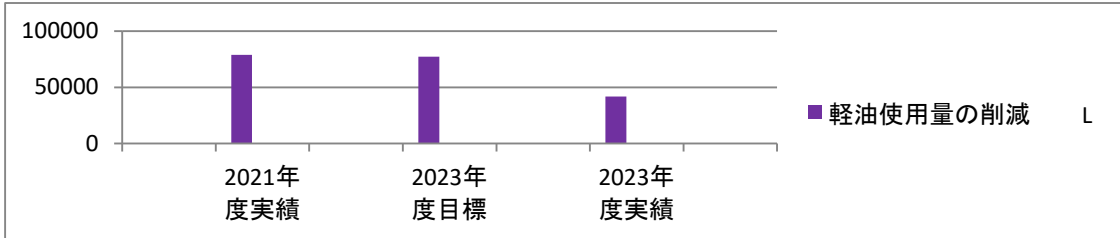
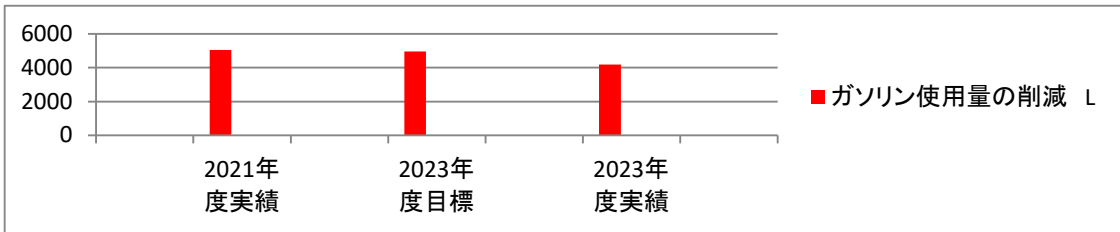
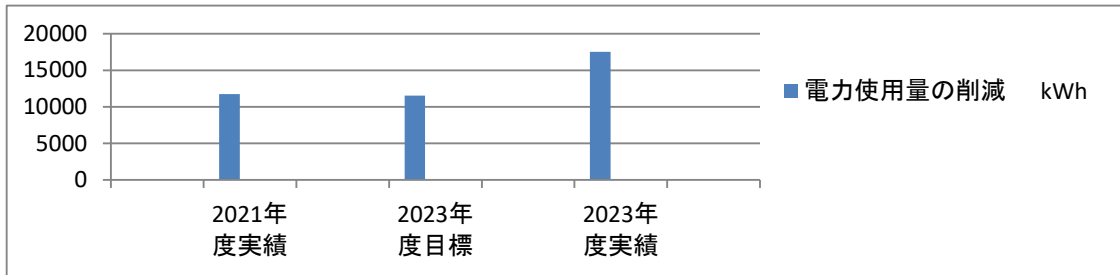
2023年9月～2024年8月までの取組期間における環境目標と実績を取りまとめました。

目標達成度＝目標値÷実績値×100(%)

### 現場関係

評価○:100%以上 △:100～80% ×:80%未満

方針	項目	基準年度実績	環境経営目標	運用期間実績	評価	目標達成率
		2021年度 9月～8月	2023年度 98%	2023年度 9月～8月		
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減 kWh	11,753	11,518	17,516	×	65.8%
	C02排出量(kg-C02)	5,630	5,517	8,390		
	ガソリン使用量の削減 L	5,054	4,953	4,192	○	118.2%
	C02排出量(kg-C02)	11,734	11,499	9,725		
	軽油使用量の削減 L	78,756	77,181	41,731	○	184.9%
	C02換算(Kg-C02)	206,683	202,549	107,666		
C02排出量合計(Kg-C02)		224,046	219,565	125,782	○	174.6%
売上高原単位(Kg-C02/百万)		5,034	4,933	3120	○	158.1%
産業廃棄物のリサイクル率100%維持 %		100	100	100	○	100.0%



## 5-3 環境経営目標の実績(全社)

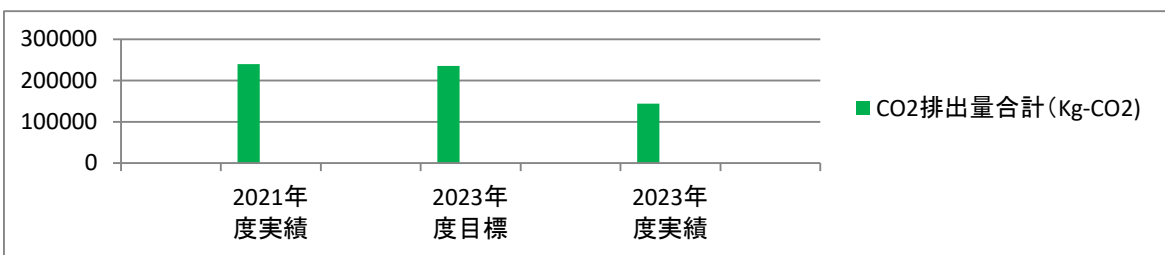
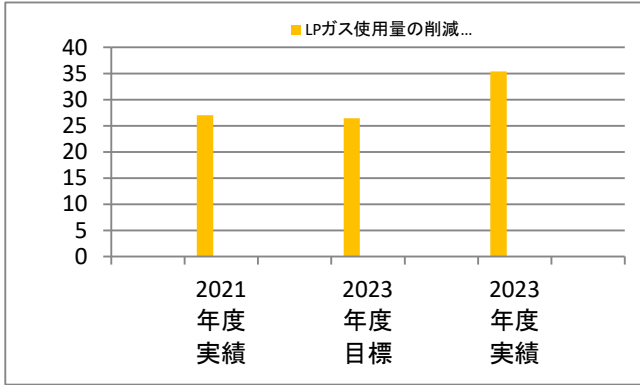
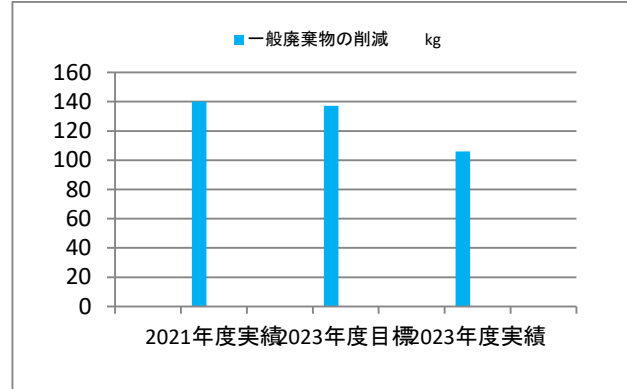
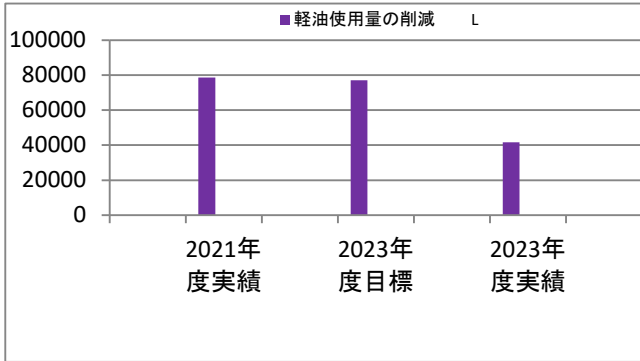
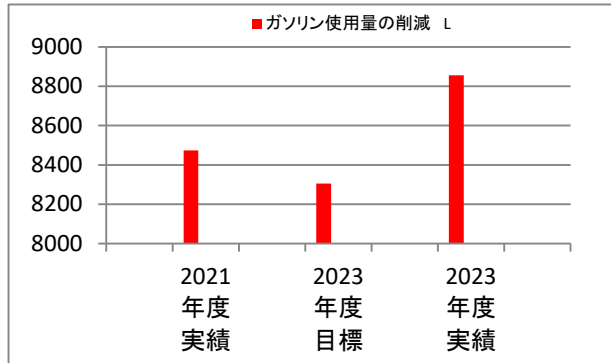
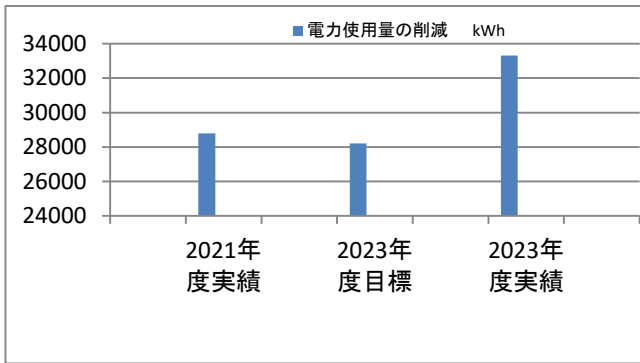
2023年9月～2024年8月までの取組期間における環境目標と実績を取りまとめました。

目標達成度＝目標値÷実績値×100(%)

津留建設全体

評価○:100%以上 △:100～80% ×:80%未満

方針	項目	基準年度実績	環境経営目標	運用期間実績	評価	目標達成率
		2021年度	2023年度	2023年度		
		9月～8月	98%	9月～8月		
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減 kWh	28,790	28,214	33,312		
	CO2排出量(kg-CO2)	13,790	13,515	15,956	△	84.7%
	ガソリン使用量の削減 L	8,474	8,305	8,856	△	93.8%
	CO2排出量(kg-CO2)	19,674	19,280	20,546		
	軽油使用量の削減 L	78,756	77,181	41,731	○	184.9%
	CO2換算 (Kg-CO2)	206,683	202,549	107,666		
	LPガス使用量の削減 kg	27	26	35	×	74.7%
	CO2排出量(kg-CO2)	81	79	106		
	<b>CO2排出量合計 (Kg-CO2)</b>	<b>240,228</b>	<b>235,423</b>	<b>144,275</b>	○	<b>163.2%</b>
廃棄物	産業廃棄物のリサイクル率100%維持 %	100	100	100	○	100.0%
	一般廃棄物の削減 kg	140	137	106	○	129.4%



## 6. 環境経営計画と実施状況

年2回判定を行い活動状況を確認した結果2回○…○ 1回○…△ ○無し…×で判定します。

環境経営目標項目	具体的な活動	SDGs	事務所	現場
技術力の向上	作業に応じた建設機械の見直し	8 産業・高品質な成長 9 質の高いインフラ構築	/	○
	状況に応じた運搬計画の見直し距離短縮			○
	機械等点検整備			○
	資材ロスの低減や再利用			○
電力使用量の削減	昼休みの消灯	6 気候変動に具体的な対策を 7 再生可能エネルギー 11 持続可能な都市 14 海の豊かさを守ろう	○	○
	使用時以外のトイレの消灯			○
	節水ステッカーによる目で見える周知			○
	節水による節電(地下水使用のため)			○
	不要室、不要照明の消灯			○
	冷暖房設定温度の厳守			○
	空調機フィルターの定期的清掃(年2回)			○
	日よけ、ブラインドの開閉による室温調節			○
クールビズ運動	○			
ガソリン及び軽油使用量の削減	アイドリングストップの推進	7 再生可能エネルギー 11 持続可能な都市	○	○
	経済運転の推進(急発進、急停止の禁止)			○
	法定速度の厳守			○
	現場への車両の相乗り推進			○
	車両購入時は燃費の良い車を購入			○
	BDF燃料の利用促進			×
産業廃棄物リサイクル率100%維持	産業廃棄物の分別の徹底	12 つくばるものをつくる	/	○
	リサイクル、再資源化の推進			○
	産業廃棄物置場の適正な管理			○
一般廃棄物の削減	両面印刷の活用(コピー用紙使用削減)	12 つくばるものをつくる 15 気候変動に具体的な対策を	○	○
	裏紙使用の推進(コピー用紙使用削減)			○
	分別による古紙のリサイクル化			○
	帳票見直しによる印刷物の削減			○
水使用量の削減(地下水使用)	節水の推進	6 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう	○	○
	節水ステッカーによる目で見える周知			○
	雨水の使用推進			○
	水系への環境負荷物質の漏洩防止			○
グリーン製品の購入	エコマーク、グリーンマーク表示製品の購入推進	12 つくばるものをつくる 15 気候変動に具体的な対策を	○	○
	環境に配慮したコピー用紙の購入推進			○
	リサイクル製品の購入推進			○
	詰め替え可能な製品の購入推進			○
環境に配慮した工事施工	リサイクル資材の使用推進(建設リサイクル法)	11 持続可能な都市 12 つくばるものをつくる	/	○
	工事による廃材、汚泥の適正処理			○
	騒音防止の推進(騒音規制法)			○
	振動防止の推進(振動規制法)			○
地域への環境貢献	環境に配慮した施工方法の採用	11 持続可能な都市	/	○
	ロードクリーンボランティア実施(年6回)			○
地域への環境貢献	工事現場周辺の除草作業及び清掃	11 持続可能な都市	/	○

### 判定結果

2週間に1度工事部工程会議を行い、重機・車両等無駄の無いように各工事で情報交換をこまめに行っている。

雨水利用は出来る限り行っていくようにしている。現場仮設トイレ等今期はBDF燃料の利用がなかった。

## 7. 取組結果とその評価及び次年度の取組内容

### 事務所関係

目標項目	評価分析内容
電力使用量の削減	冬場の温かい時など暖房の使用を停止したり、退出時の消灯を意識して取組節電を徹底して目標達成できた。次年度も目標達成するように努力していく。
ガソリン使用量の削減	燃費のいい車を優先的に使用したり、エコドライブの徹底など確実に実施しているが、車両増加に伴い使用量が増加し目標達成できなかった。取組は良くできているので次年度は燃料削減できるようにする。
二酸化炭素排出量削減	燃料使用量が増加して目標達成できなかった。就労時間の原単位も目標達成していないので次年度は削減できるよう取り組んでいく。
一般廃棄物の削減	分別リサイクルを心掛けることもあり目標は達成できた。地域の資源回収も利用して取組むことは出来た。次年度もリサイクルへの取組を継続していく。

### 現場関係

目標項目	評価分析内容
技術力の向上	月2回の工程会議において、現場間の調整をこまめに行い作業の工夫や車両等の移動を共有することができている。資材在庫管理をしっかり行いロスを削減していく。
電力使用量の削減	河川工事が多く水替えが多いため電力量が増加した。現場事務所の消灯など不要な時の節電は各現場ともよく出来ている。次年度も節電に積極的に取り組んでいく。
ガソリン使用量の削減	ガソリン使用量は目標達成できた。エコドライブの徹底、現場への相乗り徹底は確実に取組は出来ているので次年度も取組を継続していく。
軽油使用量の削減	河川工事では、電力か発電機によるポンプ水替えの検討が出来ていた。機械選定は適切に行えている。施工内容や施工条件により変動するが、工夫しながら取り組んでいく。
二酸化炭素排出量削減	目標達成できた。工事では、施工内容や施工条件で大きく変わってしまうが、アイドリングストップやエコドライブの実施、機械や資材の選定を行いコスト面を考慮しつつ目標達成できるよう努力していく。
産業廃棄物リサイクル率100%維持	リサイクル率100%でこの状況を継続したい。
環境に配慮した工事施工	環境保全型の機械や資材を使用した工法の検討や施工方法の工夫をしていく。

### 津留建設全体

目標項目	評価分析内容
水使用量の削減	雨水を使用できるときは雨水を使用する。現場仮設トイレの水に使用。節水の意識があり今後も意識付けしていく。
グリーン製品の購入	コスト面を考慮しつつ、積極的に購入をしていく。
地域への環境貢献	ロードクリーンボランティアの実施、工事現場周辺の除草作業、清掃活動の実施。地域の為に、回数増加や範囲拡大を計画する。

## 8. 環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟等の有無

### 環境法規等遵守評価記録一覧

法規等の名称	要求事項	記録・書類等	評価
廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> <li>許可業者に委託</li> <li>マニフェストの発行</li> <li>マニフェスト交付状況の報告</li> <li>再生利用目的の収集運搬業者に委託</li> </ul>	産廃許可証 産廃契約書 マニフェスト	適
建設リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定副産物の計画書、実施書</li> <li>解体工事における許可証</li> </ul>	建設副産物登録証明書 解体工事許可証	適
大気汚染防止法	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業主任者の選任(石綿予防則)</li> <li>アイドリングストップ運動(県条例)</li> </ul>	資格確認 安全訓練等	適
水質汚濁防止法	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設工事に伴う排水処理</li> </ul>	汚濁防止設備	適
騒音振動規制法	<ul style="list-style-type: none"> <li>測定記録</li> </ul>	振動測定記録	適
土壌汚染対策法	<ul style="list-style-type: none"> <li>排出先土砂堆積許可(県条例)</li> </ul>	町許可証	適
消防法	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防用設備の年1回の定期点検</li> </ul>	設置届出書 点検結果報告書	適
フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡易点検の実施</li> </ul>	簡易点検簿	適

環境法令遵守事項チェック表により遵守しており、環境関連法規制への違反や苦情の発生はありません。また、過去3年間にわたり、法的違反や起訴もありませんでした。

## 9. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

工事量や工種により数値目標は達成できない部分もあるが、環境活動への取組は出来ている。工事量が増減していく中、各現場や社員で連携して運用していく。工種や工法により施工条件が変わってしまうが、コスト面にも考慮しながら環境意識を高めてより良い社会環境づくりに努力します。

見直し項目	変更の必要性
環境経営方針	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
環境経営目標	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
環境経営計画	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
実施体制	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

2024. 10. 4

代表取締役 津留 克也



難関突破南関工場



難関突破南関工場